

3学年通信

新宮町立新宮東中学校
令和8年5月14日 第10号
文責:江頭 俊輔

【共鳴～つかみ取ろう！みんなの勝利！～】

あっという間に明日（5月15日）は体育会前日です。体育会学習の総仕上げです。体育会リハーサルを経て、体育会に向かう気持ちなどのブロックも一層、高まっているように感じます。残された時間はどのブロックにも平等に限られています。移動を急ぐ、私語をせず、指示を聞き、スムーズに競遊の練習に移るなど、試行回数を確保する時間の使い方が鍵です。リーダーだけでなく、最上級生の一員として、みんなで大きな声を出しながら、集団を導いていきましょう。みんなの声が共鳴する体育会をめざしましょう。

うまくいかないときはみんなで話し合うことがポイントです。意外と気持ちも晴れますし、自分以外の視点からのアイデアは参考になります。江頭は困ったときは、歴史上の人物の言葉に耳を傾けることが多いです。頑張っているすべてのリーダーへ、武田信玄の言葉として知られている『正範語録（せいはんごらく）』

から、メンタル面で大切にしてほしいことを確認します。（右図）ぜひ、音読してみたいと思っています。言葉は声に出すことで、理解が深まります。声に出してみましたか？聞いたことがある人も多いのではないかと思います。「今、愚痴は出ていませんか？」「今、言い訳ばかりしていませんか？」知恵を出すように話し合ってみましょう。本気でするなら、できるはず。本気でしているなら、誰かが助けてくれるはず。自分自身の責任感やこれまでの苦勞、そして最上級生としての覚悟をもう一度、自分自身に問い直してみよう。答えはいつも自分の内側にあるはず。

誰かが助けてくれる	本気でしているから	本気でするから何でも面白い	本気でするから大抵のことはできる	いい加減だと言いつばかり	中途半端だと愚痴が出る	真剣だと知恵が出る	判断力の差は覚悟の差	人格の差は苦勞の差	実績の差は責任感の差	実力の差は努力の差
-----------	-----------	---------------	------------------	--------------	-------------	-----------	------------	-----------	------------	-----------

【勝ち負けにこだわるのは、本番まで！本番は勝ち負け以上のものに気づいた人が本物の勝者！】

体育会前日までは、ぜひ勝ち負けにこだわってほしいと思っています。（勝ち負けにこだわらないと、スポーツとしての競技性が損なわれるからです。）ただ、体育会当日は、「勝ち負け」以上のものに気づいてほしい、いやむしろ勝ち負けだけで一喜一憂しているようでは、体育会スローガンの「みんなの勝利」をつかみ取れていないのではないかと疑問に思ってしまう。「勝ち負け」以上のものに気づいた人が本物の勝者だと江頭は思います。（3年生の中で、何人が「それ」に気づくか、江頭はとても楽しみにしています。）

日本サッカー協会（JFA）が大切にしていることをヒントとして、今回は紹介したいと思います。JFAが最も大切にしていることは「リスペクト～関わりのあるすべてを大切に思うこと～」です。JFAが掲げている

バリュー（価値観）は大きく5つ（エンジョイ・プレイヤーズファースト・フェア・チャレンジ・リスペクト）です。このバリュー（価値観）はリスペクトの精神があって初めて成り立つものです。サッカーと取り巻く人や物、環境、思想、価値観など関わるすべてのものを大切に思うことから、感動や希望、スポーツを通じた交流が生まれるのです。（JFAの目標より引用）

「勝った！」「負けた！」だけの世界線では、この「当たり前にある」現実を忘れかけてしまいます。みんなで頑張ったから、わくわくできた。係の生徒が準備をしてくれるから、楽しめた。背中に大きな応援があったから、苦しくても頑張れた。すべてにリスペクトを。本物の勝者になろう。